

東京工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	Grammar&WritingII	
科目基礎情報							
科目番号	0034			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子工学科			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	ジーニアス総合英語 English Grammar in 27 Lessons / ジーニアス総合英語 English Grammar in 27 Lessons Workbook / ジーニアス総合英語						
担当教員	向山 大地						
到達目標							
中学校で学んだ基本的な文法事項に加えて、高専入学後に学習する文法事項や構文などを理解し、活用・運用することができる。また、身近なことについて簡単な英語で書くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		要改善レベルの目安（C評価）	未到達レベルの目安（D評価）	
評価項目1	中学校で学習した文法項目などを理解し、活用・運用できる。		中学校で学習した文法項目などをおおむね理解し、活用・運用できる。		中学校で学習した文法項目などを理解できる。	中学校で学習した文法項目などを理解できていない。	
評価項目2	不定詞が理解でき、活用・運用ができる。		不定詞がおおむね理解でき、活用・運用ができる。		不定詞の意味が理解できる。	不定詞の意味が理解できていない。	
評価項目3	動名詞が理解でき、運用・活用ができる。		動名詞がおおむね理解でき、運用・活用ができる。		動名詞が理解できる。	動名詞が理解できていない。	
評価項目4	分詞が理解でき、運用・活用ができる。		分詞がおおむね理解でき、運用・活用ができる。		分詞が理解できる。	分詞が理解できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	1. 中学校で既習の文法事項や構文を理解できる。 2. 高校1年生レベルの文法事項や構文を理解できる。						
授業の進め方・方法	教科書を中心に基本的な文法事項について学習し、教科書や参考書の実践問題に取り組むことで学習内容の定着をはかる。各自が到達目標を達成できるよう、事前学習および復習を自発的にを行うことを期待する。						
注意点	授業中に配布された資料などはファイルにとじて保管すること。 指示された課題、提出物の期日は厳守すること。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	Lesson 13 不定詞（1）			不定詞の名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法について理解し、使い分けことができる。	
		2週	Lesson 14 不定詞（2）			不定詞の意味上の主語について理解し、使い分けことができる。	
		3週	Lesson 15 不定詞（3） Plus 3 不定詞を使った重要表現			SVOCの形における原形不定詞の使い方を理解でき、適切に使い分けことができる。	
		4週	不定詞復習			不定詞の全体を理解でき、練習問題が解ける。	
		5週	Lesson 16 動名詞（1）			文中における動名詞の働きを見分けることができる。 動名詞意味上の主語、完了形、受動態の形を適切に使うことができる。	
		6週	Lesson 17 動名詞（2）			不定詞と動名詞の違いを理解し、動詞の特性に応じて使い分けことができる。	
		7週	動名詞復習			動名詞の全体を理解でき、練習問題が解ける。	
		8週	後期中間試験			後期中間試験	
	4thQ	9週	Lesson 17 分詞（1）			形容詞としての分詞の使い方を理解でき、適切に使うことができる。	
		10週	Lesson 18 分詞（2）			補語としての分詞の使い方を理解でき、適切に使うことができる。	
		11週	分詞構文			分詞構文の仕組みを理解でき、自分で組み立てることができる。	
		12週	分詞復習			分詞の全体を理解でき、練習問題が解ける。各種の分詞が判別ができる。	
		13週	Lesson 1 比較（1）			基本的な原級、比較級の文を組み立て、身近なことを表現できる。	
		14週	Lesson 2 比較（2）			基本的な最上級の文を組み立て、身近なことを表現できる。	
		15週	Plus 5 さまざまな比較表現			比較を含む慣用表現を覚え、適切に使うことができる。	
		16週	後期期末試験			後期期末試験	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。		3	

			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0